

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分
 【発行日】令和 1 年 6 月 27 日 (2019.6.27)

【公開番号】特開 2018-9942 (P2018-9942A)
 【公開日】平成 30 年 1 月 18 日 (2018.1.18)
 【年通号数】公開・登録公報 2018-002
 【出願番号】特願 2016-140705 (P2016-140705)
 【国際特許分類】

G 0 1 M 11/00 (2006.01)

G 0 2 C 13/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 1 M 11/00 L

G 0 2 C 13/00

【手続補正書】
 【提出日】令和 1 年 5 月 20 日 (2019.5.20)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

レンズの光学特性を測定する測定光学系と、
 測定結果を表示するディスプレイと、
 を備えるレンズメータであって、
 眼鏡フレームを保持する保持手段であって、前記眼鏡フレームの左右のテンブルの少なくとも一方に当接し、前記左右のテンブルの少なくとも一方のテンブルの位置を移動させることによって、前記左右のテンブルの間の幅を変更させる保持手段と、
 前記保持手段によって保持された眼鏡フレームの P D を測定するための P D 測定手段と、
 、
 を備えることを特徴とするレンズメータ。

【請求項 2】
 請求項 1 のレンズメータにおいて、
 前記保持手段は、前記左右のテンブルのそれぞれの少なくとも一部に当接する左右の当接部と、
 前記左右の当接部の少なくともいずれか一方の当接部の位置を移動させる当接部移動手段と、
 を備えることを特徴とするレンズメータ。

【請求項 3】
 請求項 1 のレンズメータにおいて、
 前記保持手段は、前記左右のテンブルのそれぞれの少なくとも一部に当接する左右の当接部であって、左右の当接部間の距離が所定の距離で設定された左右の当接部を備えることを特徴とするレンズメータ。

【請求項 4】
ディスプレイを備え、眼鏡フレームの P D を測定する眼鏡測定装置であって、
眼鏡フレームを保持する保持手段であって、前記眼鏡フレームの左右のテンブルの少なくとも一方に当接し、前記左右のテンブルの少なくとも一方のテンブルの位置を移動させることによって、前記左右のテンブルの間の幅を変更させる保持手段と、

眼鏡フレームのPDを測定するためのスケールを前記ディスプレイの画面に表示させる
PD測定手段と、
を備えることを特徴とする眼鏡測定装置。